



金沢美術工芸大学
×
金沢大学



第10回 交流シンポジウム

能登地域で活躍する研究者たち

＜プログラム＞ 司会：金沢美術工芸大学教育研究センター長 土井 宏二

平成29年2月9日（木） 14:00～17:00

金沢美術工芸大学 体育館棟2階 集会ホール

どなたでもご参加頂けます。事前申込不要

主催：金沢美術工芸大学・金沢大学

両大学では地域との関わりを通じて、多彩な研究・教育・社会貢献の諸活動を展開しています。当日は、「能登」をテーマにそこで活躍する研究者たちによる報告を通じて、能登地域の特色や将来に対する理解を深めるとともに、専門分野の垣根を越えた意見交換を通じて、地域に根ざした大学の活動の可能性を探ります。

お問い合わせ：

金沢美術工芸大学 美術工芸研究所（加藤）

石川県金沢市小立野5丁目11番1号

TEL：076-262-3519 FAX：076-262-6594

14:00-14:05 開会のご挨拶

金沢美術工芸大学理事（教務学生担当）・学長補佐 山崎 剛

14:05-14:30 報告1 「奥能登国際芸術祭2017 & アートプロジェクトの理論と実践」

金沢美術工芸大学 油画専攻教授 真鍋 淳朗

14:30-14:55 報告2 「志賀町・絵画塾 ―美術教育による地域連携―」

金沢美術工芸大学 油画専攻教授 大森 啓

14:55-15:20 報告3 「歴史的資源を活かした能登地域のまちづくり」

金沢美術工芸大学 環境デザイン専攻教授 坂本 英之

15:20-15:30 休憩

15:30-15:55 報告4 「産業連関分析を活用した地域産業振興政策の可能性～七尾市産業・地域活性化懇話会の事例を通じて」

金沢大学 人間社会学域教授・地域政策研究センター長 佐無田 光

15:55-16:20 報告5 「自動運転技術による地域貢献」

金沢大学 新学術創成研究機構准教授 菅沼 直樹

16:20-16:55 総合討議

16:55-17:00 閉会のご挨拶

金沢大学理事（教育・法科大学院強化担当）・副学長 柴田 正良